



K.Ishida

サマーマイルシリーズ

THE SHIRASAGI STAKES

第1回 しらさぎステークス (GⅢ)

1着 賞 41,000,000円 2着 16,000,000円 3着 10,000,000円 4着 6,200,000円 5着 4,100,000円
付加賞 497,000円 142,000円 71,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

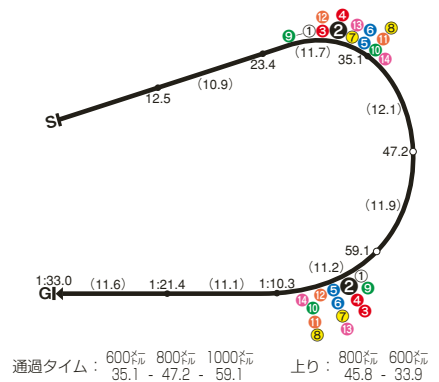
3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳53^{kg}・4歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.6.15以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3^{kg}増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.6.14以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.6.22 阪神 晴・良 芝1600m (国際) 特種

着順	馬番	馬名	性別	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	②	キープカルム	牡	57	坂井瑠星	1:33.0	9-10	33.4	496(+6)	8.0⑤	中竹和也(栗東)	110
2	⑦	チェルヴィニア	牝	4	C.ルメール	1	7-6	33.9	484(一)	4.0①	木村哲也(美浦)	108
3	⑤	コレベティール	騾	57	井上敏樹	1½	11-5	34.2	474(+6)	263.7⑨	中竹和也(栗東)	105
4	⑧	ダイシンヤマト	牡	57	岩田康誠	クビ	5-6	34.0	506(-2)	18.4⑦	戸田博文(美浦)	104
5	⑩	デビットパロース	騾	67	松山弘平	アタマ	2-2	34.4	504(±0)	4.9③	上村洋行(栗東)	
6	⑨	マテシロウオリオン	牡	67	横山典弘	ハナ	14-13	33.7	468(-10)	39.7⑩	昆 貴(栗東)	
7	⑥	レーベンスティール	牡	59	川田将雅	クビ	5-6	34.1	484(-8)	4.1②	田中博康(美浦)	
8	⑬	ダンツエラン	牝	3	松若風馬	½	7-6	34.2	484(-4)	34.4⑧	本田 優(栗東)	
9	③	ラケマダ	牡	57	小沢大仁	ハナ	11-10	34.1	510(-2)	124.2⑫	千田輝彦(栗東)	
10	⑪	シヴァース	牡	4	M.デムーロ	クビ	2-2	34.6	458(+6)	5.1④	友道康夫(栗東)	
11	⑭	ニホンピロキープ	牡	57	幸 英明	クビ	1-1	34.7	480(-6)	18.0⑥	大橋勇樹(栗東)	
12	①	ボルザコフスキー	牡	67	吉村誠之助	クビ	13-13	34.0	510(+6)	153.3⑬	清水久詞(栗東)	
12	④	ダティーズビッド	牡	77	藤懸貴志	同着	9-10	34.2	516(±0)	26.0⑧	千田輝彦(栗東)	
14	⑭	ダシット	牡	67	田口賢太	5	2-2	35.5	472(+2)	46.2⑪	中川公成(美浦)	

単勝②800円(5^{kg}) 複勝②240円(5^{kg}) ⑦200円(3^{kg}) ⑬4,190円(14^{kg}) 枠連②-⑤880円(3^{kg})
馬連②-⑦2,100円(10^{kg}) ワイド②-⑦900円(10^{kg}) ②-⑬22,950円(79^{kg}) ⑦-⑬19,380円(71^{kg})
馬単②-⑦4,400円(19^{kg}) 3連複②-⑦-⑬152,740円(211^{kg}) 3連単②-⑦-⑬519,650円(932^{kg})



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.1 - 47.2 - 59.1 45.8 - 33.9

アラカルト

- ・坂井瑠星騎手はJRA重賞本年2勝目、通算21勝目
- ・中竹和也調教師はJRA重賞本年初勝利、通算28勝目
- ・ロードカナロア産駒はJRA重賞通算87勝目

キープカルム *Keep Calm*

牡 鹿毛 2021.4.8生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・前田晋二氏 栗東・中竹和也厩舎
馬名意味・冷静を保つ

ダンシングキイUSA系 F7

ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo
		マンファスIRE
	レディブラッサム 鹿毛 1996	Storm Cat
		サルトガデュUSA
ダンスアミーガ 栗毛 2011	サクラバクシンオー 鹿毛 1989	サクラユタカオー
		サクラハゴロモ
	ダンスオールナイト 鹿毛 2003	エルコンドルパサーUSA
		ダンスパートナー

5代までのインブリード：Kingmambo S3×M4 Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

東礼治郎場長(社台ファーム)

本当に嬉しいです

本馬は22年セレクトセール1歳にて前田晋二オーナーに落札していただきました。強敵が揃ったここでどんなレースをしてくれるのかと期待していましたが、こんなにきれいに突き抜けるとは驚きました。ノースヒルズ様とのタッグで重賞を勝つのは初めてです、本当に嬉しいです。次は中京記念と聞いています。殊勲の母ダンスアミーガはコントレイルを受胎中です。

S.Naka



横線のスタートを切った後、お互いの出方を窺い合うように進んだ各馬の新星に名乗りをあげた。

だが、3コーナー手前では二ホンピロキープが押し出される形で先頭へ。デビットバロースは2番手につけ、スロリーな流れに折り合いを欠いたシヴァーが勝負どころでその外へ進出する。レーベンスティールは一回となった馬群の真つ只中、先行勢の直後を追走。チェルヴィニアはその背後に位置を取り、脚を溜めた。

スタートを決めて軽快に飛び出した後、自分のリズムを守ってジリジリとポジションを下げたキープカルムと坂井瑠星騎手のコンビも、中団のインで末脚を温存。直線に向くと進路を探しながら徐々に外へ持ち出し、狭いスペースを突いて加速にかかる。外からはチェルヴィニアも伸びてきたが、鞍上の仕掛けに鋭く反応したキープカルムはこれを凌駕する末脚を発揮。最後は1馬身差に突き放し、勝利を飾った。

今年のオークス馬カムニャックの半兄にあたる本馬はマイル戦に照準を定められて頭角を現し、昨年の秋に2、3勝クラス特別を連勝。オープン入りの後の4戦では足踏みを重ねたものの、馬群に包まれ、窮屈な競馬を余儀なくされた前走のダービー卿チャレンジトロフィーでは目を引く脚色で3着に追い込み、タイトルに手が届く下地を示していた。この日はこれまで以上に鋭い決め手を冴え渡らせ、初の勲章を獲得。サマーマイルシリーズをリードする存在に躍り出た。

父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 詳細はP.10参照

母ダンスアミーガ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央26戦5勝(仲秋S、長岡S、五頭連峰特別、ターコイズS<重賞>2着)

ミリタリータンゴ(18 牡父エイシンフラッシュ)中央10戦1勝、障害10戦0勝
ラウルビドゥ(19 牡父ハービンジャーGB)中央26戦2勝

ラバタンシン(20 牡父エピファネイア)中央19戦0勝、障害1戦0勝、地方18戦0勝

キープカルム 本馬(21 牡父ロードカナロア)中央15戦5勝(しらさぎS^G_{III}、キセキC、木更津特別、ひめさゆり賞、ダービー卿チャレンジトロフィー^G_{III}3着、リゲルS・L3着、若葉S・L3着)獲得総賞金140,829,000円

カムニャック(22 牝父ブラックタイド)中央5戦3勝(オウクス^G_I、フローラS^G_{III})^(現)

プレイザリッド(23 牡父キズナ)

(24 流産)

(25 牝父エピファネイア)

祖母ダンスオールナイト

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5勝(初音S、中山牝馬S^G_{III}3着)、16年死亡
ダンスアミーガ(11 前出)

ヨカグラ(13 騾父ハービンジャーGB)中央1勝、障害4勝(小倉サマージャンプJ^G_{III}、東京ハイジャンプJ^G_{II}2着)

曾祖母ダンスパートナー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央4勝(オウクス^G_I、エリザベス女王杯^G_I、京阪杯^G_{III}、桜花賞^G_I2着、エリザベス女王杯^G_I2着、宝塚記念^G_I3着2回)、香、仏0勝(ノネット賞・仏^G₃2着)、最優秀3歳牝馬、最優秀4歳以上牝馬、14年用途変更

ロイヤルパートナー(99 牝父エリシオFR)中央3勝(熱田特別、金山特別)、地方0勝、サンライズロイヤル(京都ハイジャンプJ^G_{II}2着)の母

ドリムパートナー(00 騾父エリシオFR)中央4勝(弥彦特別)

ダンスオールナイト(03 前出)

フェデラリスト(07 牡父Empire Maker)中央5勝(中山記念^G_{III}、中山金杯^G_{III}、産経大阪杯^G_{II}2着)、地方2勝、種牡馬、14年輸出(韓)

ロンギングダンサー(09 牡父シンボリクリスエスUSA)中央5勝(新潟競馬場開設50周年記念、テレ玉杯、新潟記念^G_{III}3着)、障害2勝

レインオーバー(11 騾父キングカメハメハ)中央2勝、地方4勝

鋭い末脚を発揮して初代王者に

昨年まではオープン特別として行われてきた米子Sを改称し、重賞に格上げ。改めてサマーマイルシリーズの開幕戦と位置付けられた新設重賞・しらさぎSは、牝馬三冠馬チエルヴィニア、重賞3勝馬レーベンスティール、大阪城Sの勝ち馬デビットバロース、ヴィブロスの産駒シヴァーが差のないオッズで上位人気を分け、混戦ムードに包まれた。初代ウィナーに輝いたのはそんな4頭に次ぐ支持を集めていたキープカルム。ロードカナロア産駒の4歳馬が重賞初制覇を果たし、マイル界の新星に名乗りをあげた。

だが、3コーナー手前では二ホンピロキープが押し出される形で先頭へ。デビットバロースは2番手につけ、スロリーな流れに折り合いを欠いたシヴァーが勝負どころでその外へ進出する。レーベンスティールは一回となった馬群の真つ只中、先行勢の直後を追走。チェルヴィニアはその背後に位置を取り、脚を溜めた。

スタートを決めて軽快に飛び出した後、自分のリズムを守ってジリジリとポジションを下げたキープカルムと坂井瑠星騎手のコンビも、中団のインで末脚を温存。直線に向くと進路を探しながら徐々に外へ持ち出し、狭いスペースを突いて加速にかかる。外からはチェルヴィニアも伸びてきたが、鞍上の仕掛けに鋭く反応したキープカルムはこれを凌駕する末脚を発揮。最後は1馬身差に突き放し、勝利を飾った。

今年のオークス馬カムニャックの半兄にあたる本馬はマイル戦に照準を定められて頭角を現し、昨年の秋に2、3勝クラス特別を連勝。オープン入りの後の4戦では足踏みを重ねたものの、馬群に包まれ、窮屈な競馬を余儀なくされた前走のダービー卿チャレンジトロフィーでは目を引く脚色で3着に追い込み、タイトルに手が届く下地を示していた。この日はこれまで以上に鋭い決め手を冴え渡らせ、初の勲章を獲得。サマーマイルシリーズをリードする存在に躍り出た。